



白桜小だより

平成30年度5月号

中野区立白桜小学校
校長 宇賀神 佳子
平成30年 5月 1日発行

スタート、1ヶ月

副校長 志賀健人

入学式・始業式から約1カ月が経とうとしています。子供たちの学校生活を見ていて感じたことをいくつか書いてみようと思います。

月曜の朝、登校後、6年生は忙しいです。1年生の面倒を見るために早く来る子も多いです。1年生が困ったことがあっても何とかしてあげなくては……。そんな気持ちをもって意気揚々登校してきています。更には楽器の用意をしてアンサンブルの準備・練習をします。代々伝えられてきたものを大切に意識があり、学年全体のリズムを揃えて演奏しようとしています。最高学年になり、その立場を意識し、自分にできることを考え、実行に移しているのです。素晴らしいことです。

5年生も高学年の仲間入りをして自分の新たな役目を意識しています。特に委員会活動が始まり意欲的に仕事を進めています。とり小屋のチャボたちについて朝早くから面倒を見ていますし、全校が楽しめるようにお昼の放送を工夫しています。これまた今までになかったことへのチャレンジとなり意欲的な姿が目立っています。

4年生はクラブ活動が始まりました。3年生のときにクラブ見学をして、今年度の希望を出し、決まったクラブでの活動がスタートしたところです。まだ1回目の活動では組織をつくったり計画を立てたりすることが中心だったので早く本格的にクラブ活動をしたいと、2回目以降を楽しみにしているようです。

3年生にも初めてのことが多くあります。社会科・理科・総合的な学習という教科の学習がスタートしました。まだまだ始まったばかりですが、新しい学習への興味を強くもっています。自分から進んで調べていくことや根拠をもって発表していくことに少しずつ慣れていくことなのでしょう。

2年生は学校の中に自分たちより年下の子たちが入ってきたのですから、いろいろと教えてあげたいわけですね。1年生の学校探検の教え役として手を引いてたくさんの場所を案内してあげました。お兄さん・お姉さんになった嬉しさを感じ、自分の役目をしっかりと意識しているようでした。

1年生は今までの幼稚園・保育園とは異なり小学校生活がスタートしました。鉛筆の持ち方に気を付けて書く練習をしたり、手をまっすぐに挙げて先生に指名されるのを待っていたりします。新しい友達ができ、声をかけながら一緒に楽しく遊ぶこともできています。環境が変わり新しい学校生活への適応を一つ一つこなしているのです。

どの学年にも共通していることがあります。今までになかったことにチャレンジし、自分の立場を意識し、自分がすべきことをよく考えていることです。学校全体が新たなことに適応しようとしている1ヶ月になっています。ご家庭でも、よく頑張っていることを認めていただき、励ましてあげてください。学校生活がより順調なものとなり、軌道に乗っていくことでしょう。